

令和7年3月26日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

第19回 京浜港物流高度化推進協議会を開催

京浜港における物流を取り巻く現状を共有し、物流の効率化・高度化に向けた取組を一層深化させるべく、「第19回京浜港物流高度化推進協議会」（委員長：二村真理子 東京女子大学教授）を開催しました。

京浜港物流高度化推進協議会は、平成18年度に設置して以降、京浜港における港湾物流の効率化・高度化を図ることにより、我が国産業の国際競争力強化に寄与することを目的に、多様な関係者による協働の取り組みを推進してきました。

今般、京浜港における物流を取り巻く現状を共有し、物流の効率化・高度化に向けた取組を一層深化させるべく「第19回京浜港物流高度化推進協議会」（委員長：二村真理子 東京女子大学教授）を下記の通り開催しましたので、その議事概要についてお知らせします。

日時：令和7年3月14日（金） 14:00～16:00

場所：横浜第二合同庁舎1階 共用第2会議室

委員：別紙1のとおり

議事概要：別紙2のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ 物流専門紙 その他専門紙

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

港湾高度利用調整官

古川（ふるかわ）（内線：5945）

クルーズ振興・港湾物流企画室 室長

福本（ふくもと）（内線：5729）

クルーズ振興・港湾物流企画室 課長補佐

大木（おおき）（内線：5773）

京浜港物流高度化推進協議会 委員名簿

(順不同・敬称略)

所 属	役 職	氏 名
(学識経験者)		
神奈川大学	名誉教授	中田 信哉
東京海洋大学大学院	海洋科学技術研究科 教授	渡邊 豊
中央大学	経済学部 教授	山崎 朗
筑波大学	システム情報系 教授	岡本 直久
東京女子大学	現代教養学部 教授	二村 真理子
専修大学	商学部 教授	岩尾 詠一郎
(民間事業者)		
(一社)日本経済団体連合会	産業政策本部 上席主幹	脇坂 大介
(一社)日本貿易会	政策業務第二グループ グループ長	高橋 敦
日本機械輸出組合	理事	多田 正博
日本貨物鉄道(株)	本社営業部 国際営業室 室長	菊地原 宏之
(公社)全日本トラック協会	海上コンテナ部会部会長	藤木 幸二
(一社)日本船主協会	物流システム幹事会アドバイザー	北村 幸一
外国船舶協会	専務理事	村瀬 千里
日本内航海運組合総連合会	コンテナフィーダーWG 座長	井本 隆之
(一社)東京港運協会	常務理事	今村 秀彦
川崎港運協会	常務理事	奈雲 義典
横浜港運協会	常務理事	水上 裕之
関東倉庫協会連合会	常務理事	鶴元 岳志
関東冷蔵倉庫協議会	会長	武田 信一郎
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)	取締役	鈴木 文浩
(港湾運営会社)		
横浜川崎国際港湾(株)	企画部 企画部長	石原 正豊
(行政関係者)		
東京都港湾局	港湾振興担当部長	三浦 知
川崎市港湾局	港湾経営部長	木村 俊介
横浜市港湾局	港湾物流部長	竹内 紀充
財務省東京税関	総務部長	田中 透
財務省横浜税関	総務部長	武次 周一
経済産業省関東経済産業局	産業部長	小澤 元樹
警視庁交通部	交通規制課長	池田 正博
神奈川県警察本部交通部	交通規制課長	水田 隆三
国土交通省関東運輸局	交通政策部長	落合 裕史
国土交通省関東地方整備局	港湾空港部長	内藤 孝

第19回 京浜港物流高度化推進協議会

議事概要

■開催日時 令和7年3月14日(金) 14:00~16:00

■開催場所 横浜第二合同庁舎1階 共用第2会議室

■委員 別紙1のとおり

■議事

(1)規約の変更について

(2)京浜港物流高度化推進協議会の取組について

■概要

1. 中田委員長が後任の委員長として二村委員を推薦され、二村委員が新委員長となった。
2. 議事(1)において、規約を一部変更し、協議会の取り組みを「京浜港物流高度化行動計画の策定」から、「京浜港の物流の効率化・高度化に関する目標や具体的な行動を共有し、協働して取り組みを推進すること」に変更した。
3. 議事(2)において、前回開催(H30.2)から今回までの社会情勢変化と京浜港における取組について、事務局が説明し、意見交換を行った。

■委員からの主な意見

- 前回の開催から7年が経過し、状況は大きく変化している。労働力不足、デジタル化、カーボンニュートラル、自然災害に対応していくことが重要である。
- コンテナターミナルのゲート前とターミナル内の混雑が課題であり、解消することが重要である。
- コンテナターミナルの一体利用の取り組みが拡大することに期待したい。
- インランドデポを活用したコンテナラウンドユースや輸入コンテナを内貨転用することが物流の効率化を図る上で重要である。
- CONPASの取り組みが進展するよう期待している。ヤード内の業務と連携することが必要である。
- 京浜港背後の関東圏からの農産品の輸出について検討を進めることが重要である。

■二村委員長によるとりまとめ

- 7年ぶりの開催となり、人材確保の難しさや環境への対応など京浜港を取り巻く状況が大きく変化していることが確認できた。物流の効率化・高度化を図るためには、新技術の活用や商慣習の見直しが必要などの意見が寄せられた。また、現場の課題解決や将来を見据えた港湾戦略など、様々な取り組みにあたっては、現場の意見をよく聞いて進めてほしいとの意見もあり、本協議会の継続的な開催を期待しているということだと理解した。本日の各委員の意見を事務局で取りまとめていただき、協議会の取り組みを前進させたい。

■協議会状況写真



【中田 前委員長の挨拶】



【二村 新委員長の挨拶】



【協議会全景】